

まちづくりのテーマ

計画の内容や目標を踏まえ、計画期間5年間で重点的に取り組むまちづくりのテーマを設定し、その実現に向けた施策を展開します。

テーマ1 多世代が交流できる地域コミュニティの醸成

幸田町は、土地区画整理事業などで新たに住宅地が整備された地区に住む住民と、集落地に住む住民との間でコミュニティや世代のつながりが希薄化しているといった問題を抱えています。人口減少や少子高齢化が進行している中、子どもからお年寄りまで、多様な世代が交流できるよう取組を推進し、地域コミュニティの醸成を図ります。

【関連する施策体系】

1-2-1 多様な人材の育成と活躍する場づくり	3-2-1 子どもが安心して過ごせる居場所づくり
2-2-1 定住環境の向上	4-1-1 コミュニティの活動支援
3-1-1 第3子が安心して産める子育て支援	

- 【取組テーマ】
- (1) 多世代交流施設の促進 ……多世代交流施設の活用 等
 - (2) 地域が抱える課題の解決 ……空き家などの利活用促進、子どもの居場所づくり 等

テーマ2 地域の個性を活かした地方創生の推進

地方創生 2.0 では、地域が持つ本来の価値や楽しさを再発見し、多様な幸せを実現することを目標にしています。幸田町がこれまで進めてきた特徴的な事業を発展させたり、地域の資源を活用したりして、幸田町の個性を見つけ、育て、活かし、地域の活性化につなげます。

【関連する施策体系】

2-1-1 観光の育成・支援	4-1-1 コミュニティの活動支援
2-2-1 定住環境の向上	4-3-1 防災・防犯・交通安全の強化
2-2-2 関係人口・交流人口の創出・拡大	

- 【取組テーマ】
- (1) 複合拠点の整備 ……菱池遊水地事業の推進 等
 - (2) 関係人口の拡大・創出 ……各種ツーリズムに関わる人の拡大・創出 等

テーマ3 デジタル・新技術の活用

地域の活性化を進める上では、デジタルの力を活用し、地域の課題解決や魅力向上を図ることが求められています。幸田町でも DX 推進方針を策定し、行政サービスのデジタル化を推進しており、地方創生の加速化・深化を図ります。

【関連する施策体系】

3-3-2 仕事と子育ての両立支援の推進	4-3-1 防災・防犯・交通安全の強化
4-1-3 生涯学習・スポーツの充実	4-4-2 デジタル・新技術の活用

- 【取組テーマ】
- (1) 利便性の高い生活の実現 ……スマート窓口推進事業、保育園 ICT システム活用 等
 - (2) 安心して暮らせる住環境の形成 ……デジタル技術を活用した地域防災力の向上 等

第3期 幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略 <概要版>

1. 総合戦略を策定する経緯・目的

全国的に、世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子高齢化が進展しており、生産年齢人口の減少が、経済成長の制約になることが懸念されています。また、人口が減少する中で東京圏と地方との転出均衡達成目標はまだまだ達成できておらず、地方の過疎化や地方産業の衰退、さらには南海トラフ地震などの大規模災害への対応などが大きな課題となっています。

幸田町においては、『第2期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略』にて各種関連施策を進めてきた内容を継承しつつ、最近の社会情勢に対応した新しい取組も追加し、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化するため、『第3期幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第3期総合戦略」）』を策定します。

2. 計画期間

第3期総合戦略の計画期間は、**2026（令和8）年度～2030（令和12）年度までの5年間**です。

3. 第3期総合戦略の基本方針

(1) 幸田町の地域ビジョン（めざす姿）

幸田町は、豊かな自然環境のもと、**コンパクトなまちで暮らしやすい、工業を始めとする産業が安定している、JR 東海道本線の3つの駅があり利便性が高い**などの強みがあります。

そうした強みを活かし、日本の人口が減少傾向にある中でも、幸田町は人口を増加・維持してきました。一方で、**新興住宅地住民と集落住民との間でコミュニティや世代のつながりの希薄化などの問題**を抱えており、引き続き「**なめらかなまちづくり（立場や居所・年齢や性別・様々な個性や違いを認めつつも、分断を超えて自然にコミュニケーションが図れる状況）**」の実現に向けた取組を推進することが必要です。

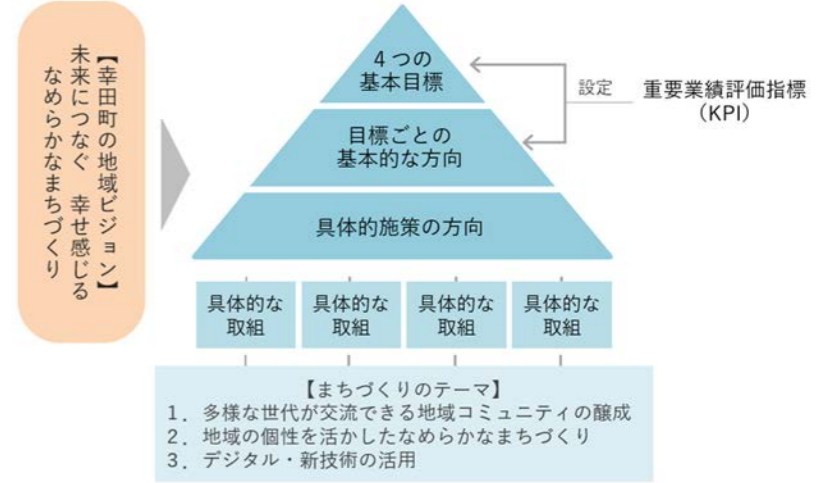
そこで、地域ビジョン（めざす姿）を下記のとおり設定します。

未来につなぐ 幸せ感じる なめらかなまちづくり

(2) 総合戦略の体系

地域ビジョン（めざす姿）を実現し、地域の課題解決とさらなる魅力向上を目指すため、具体的な施策や横断的な取組を設定します。

また、計画期間5年間で重点的に取り組むまちづくりのテーマを設定します。



基本目標 1 町ならではの仕事と人材を育て、安心して働けるようにする



本町の強みである産業の一層の強化を図り、人の流れを育て、子どもを育て、地域を育てる「よい流れ、よい循環」を創出し、地域の持続的な発展とさらなる成長につなげます。多様な分野からなる産業構造への転換によって、成長エンジンである税収を安定させるとともに、地場産業など本町に特徴的な産業の育成を支援します。

また、多種多様な企業が集積している利点を生かしながら、地域産業を支える人材や後継者を確保します。

■基本的な方向

- 1-1 産業振興と就業機会の創出
- 1-2 地域で活躍する人材の育成

■主な KPI (重要業績評価指標)

指標	出典	基準値	目標値
製造品出荷額等	経済構造実態調査 経済センサス活動調査	10,620 億円 (R5)	13,620 億円 (R11)
製造品付加価値額	愛知県統計年鑑	261,641 百万円 (R4)	300,000 百万円 (R10)
農産物収入	JA 聞き取り	373 万円/10a (R6)	450 万円/10a (R11)
創業支援等事業計画による支援件数	認定創業支援等事業 計画調査項目表	16 件 (R6)	26 件 (R12)
ものづくり人材育成事業の参加者数 (累計)	町資料	62 人 (R6)	458 人 (R12)

基本目標 2 多様な人の流れを育て、町の魅力を高める



観光交流や学びの場づくりにより、人の流れを創出し、地域の活性化につなげるとともに、交流人口の拡大から関係人口の拡大へ、そして中長期的には定住人口の確保を目指します。

■基本的な方向

- 2-1 地域資源 (タウンプロモーション) の強化
- 2-2 定住人口・交流人口・関係人口の創出・拡大

■主な KPI (重要業績評価指標)

指標	出典	基準値	目標値
定住人口	住民基本台帳	42,072 人 (R6)	42,500 人 (R12)
観光協会 HP のアクセス数	幸田町観光協会 HP	35 万件 (R6)	47 万件 (R12)
「町に住みたい」と思う人の割合	幸田町住民意識調査	57.9% (R6)	63% (R12)
道の駅来場者数 (産直・飲食来場者数)	月次業務報告書	407,782 人/年 (R6)	420,000 人/年 (R12)
ロケ受け入れ件数	町資料	16 件/年 (R6)	19 件/年 (R12)

基本目標 3 子どもを育て、みんなを元気にする



出生から新生児期、乳幼児期、学童期、思春期の各段階を経て、子どもが大人になるまでの一連の成長過程や、その保護者、妊産婦に対し、必要な支援を切れ目なく提供するなど、子どもを安心して産み育てられる環境を整備し、子育てをサポートします。

また、全ての子どもや保護者が本町で安全・安心に暮らし続けられるよう、ニーズに応じた子育て支援サービスや教育・保育サービスを充実させます。

さらに、子育てに魅力や喜び、楽しさを感じることができるよう、男女がともに子育てと仕事を両立できる環境の整備、子育てを支援する生活環境の整備に努めます。

■基本的な方向

- 3-1 子どもを安心して産み育てられる環境の整備
- 3-2 子どものウェルビーイングの実現
- 3-3 仕事と子育てが両立できる子育てしやすい環境づくり

■主な KPI (重要業績評価指標)

指標	出典	基準値	目標値
年少人口	住民基本台帳	6,516 人 (R6)	6,100 人 (R12)
子育て応援アプリダウンロード累計数	町資料	701 件 (R6)	1,900 件 (R12)
「学校教育の充実」に係る施策の満足度	幸田町住民意識調査	31.7% (R6)	40% (R12)
「医療体制の充実」に満足している住民の割合	幸田町住民意識調査	43% (R6)	45% (R12)
「子どもの居場所の充実」に満足している住民の割合	幸田町住民意識調査	28.0% (R6)	35% (R12)

基本目標 4 地域の個性を育て、健やかに暮らせるようにする



地域の「コミュニティの醸成」「自然環境の活用」「安全・安心の実現」「歴史・文化の融合」などの取組を推進することで地域の個性を育て、健やかに暮らせるまちを目指します。

■基本的な方向

- 4-1 地域コミュニティの醸成
- 4-2 環境にやさしいまちづくりの推進
- 4-3 安全・安心な住環境の形成
- 4-4 持続可能なまちづくりの推進

■主な KPI (重要業績評価指標)

指標	出典	基準値	目標値
「地域活動の推進」に満足している住民の割合	幸田町住民意識調査	23.7% (R6)	29% (R12)
処理しなければならない 1 人当たりのごみ排出量	一般廃棄物処理基本計画	555 g/日・人 (R6)	545 g/日・人 (R12)
家具転倒防止対策を行っている住民の割合	幸田町住民意識調査	43.6% (R6)	57% (R12)
文化財周知事業 (歴史講座、文化財ウォーキング、文化財説明会など) への参加者数	町資料	335 人 (R6)	500 人 (R12)
LINE 登録者数	町資料	4,480 人 (R6)	8,400 人 (R12)